

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -12

4-
-12

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	上越新幹線・北陸新幹線を活用したアクセスルートの周知・利用拡大
節	アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	12 広域アクセスルートの広報促進	事業主体	県観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	北陸信越運輸局、佐渡地域振興局企画振興部、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、佐渡市観光振興課、県観光協会、佐渡観光協会、佐渡汽船㈱
事業概要	<p>【事業目的】 上越新幹線と北陸新幹線を活用した周遊ルートの周知・利用拡大を図る。</p> <p>【事業内容】 首都圏・関西圏から佐渡までのアクセスルートについて、パンフレット、チラシ、ホームページ等での情報提供のほか、旅行代理店へのアプローチを行う。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 旅行エージェントや交通事業者を対象とした観光商談会、旅行エージェント招聘の実施 観光商談会を実施する(首都圏、関西圏での開催を予定) 旅行エージェント招聘等を実施する。 JR西日本と連携した情報発信、旅行商品の販売促進 ・北陸新幹線を利用したレンタカー＋佐渡航路航空料金の割引商品の販売を促進する。 ・西Navi(広報誌)等を活用して佐渡をPRする。 ・旅行商品販売促進のため、販売実績に応じてインセンティブを実施する。 ・関西圏の大学生を対象に佐渡への3泊4日のモニターツアーを実施する(参加者によるSNSでの情報発信)。</p> <p>北陸新幹線開業を契機とした佐渡観光PR事業 ・シティリビング(情報誌)、西Navi(広報誌)等により佐渡をPRする。 ・大阪で「関西にいがたゼミナール」を開催する。</p> <p>【29年度実績】 旅行エージェントや交通事業者を対象とした観光商談会、旅行エージェント招聘の実施 ・観光商談会を実施した(首都圏:9/21、2/27、関西圏:10/26、2/26)。 ・旅行エージェント招聘を実施した(5/11-13 販売担当18名)。 JR西日本と連携した情報発信、旅行商品の販売促進 ・北陸新幹線を利用したレンタカー＋佐渡航路航空料金の割引商品の販売を促進した(支援実績17件)。 ・大阪駅等で開催したイベントで佐渡のPRを実施した(11/22-23)。 ・旅行商品販売促進のため、販売実績に応じたインセンティブを実施した。 ・関西圏の大学生を対象に佐渡への3泊4日のモニターツアーを実施した(8/22-25実施、学生10名参加)。</p> <p>北陸新幹線開業を契機とした佐渡観光PR事業 ・情報誌シティリビング(9/22)、広報誌西Navi(2月下旬)等による佐渡のPR それぞれ新潟市、上越エリアと共同出稿した。 ・大阪で「関西にいがたゼミナール」を開催した 10/12 参加者60名(応募269名)。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 周遊ルートの周知拡大を図るためには、島内、対岸市を含めた周遊ルートの魅力を引き続き高めていくことが必要である。</p> <p>【今後の取組】 30年度の具体的な事業概要(予定) ・旅行エージェントや交通事業者を対象とした観光商談会、旅行エージェント招聘を実施する。 ・JR西日本と連携した情報発信、旅行商品の販売促進に取り組む。</p> <p>31年度以降の方向性(予定) ・首都圏旅行エージェント等への情報提供などを通じて、周遊ルートの周知拡大を図る。 ・JR西日本との連携を中心に関西圏からの旅行商品の造成、販促等を行い、周遊ルートの周知拡大を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a (b) c) イベントの開催、旅行商品の販売促進により、周知、利用拡大を図った。</p> <p>【事業実施の効果】 (a (b) c) H29年の佐渡航路利用者の対前年増減は 34千人と、H28年に比べ減少幅が縮小した。</p> <p>【総合評価】 (A (B) C) 広域アクセスルートの魅力向上を図り、旅行エージェントへのアプローチや情報発信強化に取り組んで行く。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。